

日 時	令和6年1月30日(火) 13:45~15:35
学校名/機関名	宇都宮市立若松原中学校
対 象	204名
講 師	大西 盛明 氏 (株式会社オニックスジャパン 代表取締役) 郡司 成江 氏 (ビューティアトリエグループ 代表取締役社長) 戸塚 正一郎 氏 (株式会社SUBARU 常務執行役員航空宇宙カンパニーレジデント) 橋本 恵美 氏 (栃木小松フォークリフト株式会社 代表取締役会長) 羽石 和樹 氏 (株式会社ローラン 代表取締役社長) 吉田 恭平 氏 (株式会社ダイニチ総合プランニング 代表取締役)
内 容	<p>今回は、1年生の職業学習として「働くとはどういうことか」というテーマで授業を行った。事前アンケートにより、生徒たちは自分の聞きたい業種の講師を2人選んでおり、メモを取りながらしっかりと話を聞いていた。</p> <p>大西氏は、仕事をする上でのやりがいは、商品を通して人と社会の役に立てることだと話していた。また、経営者としては社員が成長し、会社が成長することが一番のやりがいだと語っていた。</p> <p>郡司氏は、「美容師になるために今やっておくべきことは？」という質問に、「何かをやり遂げること」と答えていた。美容師になるには相当な努力が必要なので、やり遂げた経験があればきっと乗り越えられる。生徒はその言葉に深く頷いていた。</p> <p>戸塚氏は、1つの飛行機を作るまでに何人もの人の手で、いくつもの過程を経ていくことを説明した。そのことから、仕事をする上ではチームワークがとても大切だと話しており、生徒たちはとても納得した様子だった。</p> <p>橋本氏は、経営者とは自分の「夢」を、社員を通して実現することだと語っていた。その夢とは、製品を通じて社会貢献をすること、社員が生き生きと働くこと、社員の子どもが、その姿に憧れ、入社することだと語っていた。</p> <p>羽石氏は、自社の製品は研究者の困りごとを解決することに役立っている。そして、研究者は世の中の人々の役に立つ商品を作っている。つまり、縁の下で人々の役に立っているという実感があることが、仕事をする上での喜びだと話していた。</p> <p>吉田氏は、自身が初めて働いた経験について語っていた。高校時代にトランペットを購入するため、約1年間新聞配達をしたこと。その時に購入したトランペットを今でも大事にしていることから、働いてお金を稼ぐということの意味を生徒たちに伝えていた。</p> <p>どのクラスでも生徒が積極的に質問をしており、とても有意義な授業となった。今回の授業で、働くことの意義や喜びを学ぶことができたと思う。</p>

